なのみ通信

令和８年度　筑前町立東小田小学校　学校通信　１１月２日　第９号

みんなでチャレンジする子どもの育成

本校教育の重点目標になります。「学びにチャレンジする」「友だちとの活動にチャレンジする」「食、運動にチャレンジする」なのみっ子を育んでいきます。

どうしてこんなにきれいなの？

先日本校に来校されたお客様から「どうしてこんなに学校がきれいなんですか?!」と嬉しいお言葉をいただきました。

本校は縦割り班掃除として異学年で協力しながら行っています。その成果を初めて来られた方に認めてもらえたこと、改めてなのみっ子を誇りに思えた瞬間でした！

２学期も後半を迎えました。林間学校や東小田チャレンジでは、仲間と力を合わせて挑戦する子どもたちの姿に、確かな成長を感じました。保護者の皆様の温かなご支援に、心より感謝申し上げます。

行事で得た自信や仲間とのつながりを、日々の学習や生活へ。一人一人が新たな目標に挑戦し、「できた」「成長した」と実感できる２学期後半となるよう、教職員一同、力を尽くしてまいります。

仲間と学び、素直な心で伸びる　～なのみっ子の新しいリーダーに向けてがんばっています！～

５年生が、二日間の林間学校で、仲間と力を合わせて頑張りました。活動や食事、生活を共にした時間は、友達の新たなよさに気づき、つながりを深める、かけがえのないものとなりました。

子どもたちの姿から私が最も強く感じたのは、その「素直さ」です。人の話に耳を傾け、学んだことをやってみようとする。その姿に、これから成長していく大きな力を感じました。素直さとは、ただ大人の言うとおりにすることではありません。自分とは違う考えにも耳を傾け、自分で考え、よりよくなろうとする心です。学校のリーダーとなっていく５年生にとっても、大切な成長の土台になると感じています。

これは、どの学年の子どもたちにも大切にしてほしいことです。私たち大人は、つい「できたかどうか」に目を向けがちですが、できるようになる途中にも、子どもの成長は表れています。友達のやり方を試したこと、失敗を認めてやり直したこと、困ったときに「教えて」と言えたこと。そんな小さな一歩を見つけ、「やってみたんだね」「よく相談できたね」と伝えることが、次のチャレンジへの勇気につながるのではないでしょうか。



５年生の頑張りを通して、子どもたちの伸びようとする心を、学校と家庭で共に支えていきたいと、改めて感じました。

チャレンジで育んだ力を、次の一歩へ　～目標達成に向けた過程も大切に～

東小田チャレンジでは、子どもたちが仲間と心を合わせ、練習の成果を発表しました。緊張しながらも自分の役割を果たそうとする姿に、一人一人の頑張りと成長を感じました。温かな拍手を送ってくださった保護者の皆様、地域・ご来賓の皆様に、心よりお礼申し上げます。

当日の姿を支えたのは、目標に向かって繰り返し練習し、友達と工夫したり励まし合ったりしてきた日々です。「どうすれば伝わるだろう」「もっとよい発表にするには」と考え、取り組む過程そのものが、大切な学びとなりました。自分の努力と仲間の支えによってやり遂げた経験は、自信や互いへの信頼につながったと思います。

発表会の最後には、今日までの自分と、今日の自分を振り返ることの大切さを伝えました。「何度も練習したから最後までできた」「友達と心を一つにしたから力を出せた」。できた理由を考えることで、自分の成長や友達のよさに気付くことができます。また、「今日は緊張したから、次はもっと大きな声で伝えたい」という思いも、次の目標につながります。



「目標設定→チャレンジ→振り返り」を、これからの授業や日々の生活にも生かしてほしいと願っています。発表に挑戦する、難しい問題にも粘り強く取り組む、友達と協力して活動する。そんな毎日の一歩につながるよう、学校でも振り返りを大切にしていきます。ご家庭でも、結果だけでなく、そこに至る努力や工夫に目を向け、お子様の次のチャレンジを後押ししていただければ幸いです。